

2021 年度実施概要

学校名

出雲市立北浜小学校

採択活動名

海から学び、人から学ぶふるさと学習～北浜の海と「きたはま水族館」～

実施単元 ※実施した単元の数に応じて記載してください

単元名	学年	教科
1. 全校磯活動	1～6年生	学校行事
2. 「十六島海苔」 海苔摘み体験	3～6年生	学校行事
3. わたしたちの「きたはま水族館」	3・4年生	総合的な学習の時間

取り組みの概要

島根県出雲市立北浜小学校は、出雲市内でも数少ない海辺の学校である。これまで、夏には「全校磯活動」、冬には「十六島海苔摘み体験学習」など、身近な海を活用した特色ある学習活動を行ってきた。

また、北浜小学校は、出雲市で唯一、校内水族館のある学校である。「きたはま水族館」という名前のこの水族館は、平成5年にPTAと地域の人たちの力で作られた。北浜の海の水を中庭の水槽へポンプで汲み上げて循環させており、水槽の中には、地元の漁師さんや、地域の方から寄付された大小様々な魚が泳いでいる。この「きたはま水族館」は全校児童が休み時間などに観察して楽しむ他、3・4年生を中心に水族館の歴史や水族館の魚について学習もしている。

以上の特色を生かして、これまで続けてきた活動を基盤とし、北浜の海で行う活動と「きたはま水族館」に関する活動の2本の柱に沿って学習を進めた。

1本目の柱、北浜の海で行う活動として7月に「全校磯活動」を行った。全校児童・教職員・保護者・地域の方で校区の釜浦海岸へ出かけ、海辺の清掃活動を行った。その後、縦割り班で磯遊びや貝拾いなどをして海と親しんだ。また、12月に「十六島海苔」の海苔摘み体験を計画し、事前学習や準備を進めていたが、荒天による延期が続き、最後の予備日も波の勢いが収まらず、やむなく中止となった。

2本目の柱、「きたはま水族館」に関する活動では、3・4年生が普段から親しんでいる「きたはま水族館」について改めて目を向け、その歴史や飼育している魚などについて学習した。また、校内の水族館管理担当者に話を聞く、近隣の水族館のバックヤード見学をして、今の「きたはま水族館」の課題と、これからの「きたはま水族館」をもっと良くしていくために何ができるかを考え、持続可能な環境整備について意見を出し、実際に中庭の草抜きなどできることから環境整備にも挑戦した。また、水族館のことをPRするために案内看板（水族館パネル）を作って設置する、水族館新聞を作り校内に貼るなどの広報活動や、コロナ禍のためなかなか来校の難しい遠方の方にも「きたはま水族館」の魅力を発信できるように、学校ホームページ内の水族館コーナーの更新などインターネットを活用した情報発信にも挑戦した。

活動中の写真

1. 全校磯活動



3. わたしたちの「きたはま水族館」

